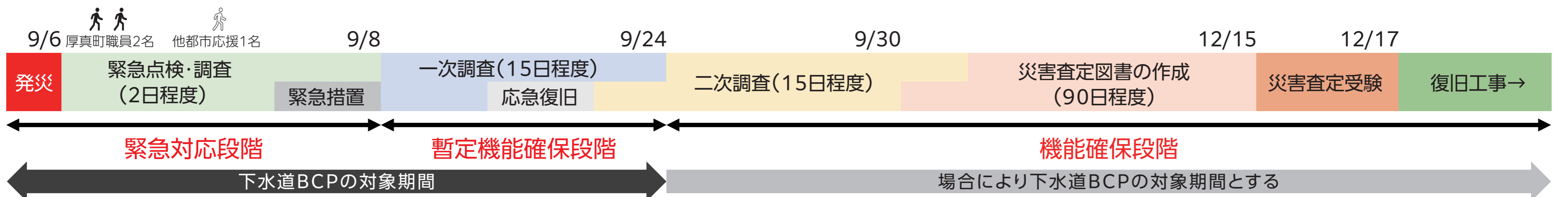


日水コンの大規模災害への取組

近年、大規模災害が全国的に多発しています。日水コンでは、過去の大規模災害での支援経験を踏まえて、訓練から災害対応までをサポートします。

北海道胆振東部地震での災害復旧支援(北海道厚真町) 2018年(平成30年)9月

2018年(平成30年)9月6日に発生した北海道胆振東部地震では、厚真町の下水道職員体制に配慮し、日水コンは早期に現地入りし、以降災害査定受検までの災害復旧支援業務に従事しました。



被災状況調査



クラウド型下水道台帳システムの活用



災害時におけるメリット

- 下水道台帳図の印刷が不要
- 紙より持ち運びがしやすい
- 調査結果を即座に記録できる
- 欲しい情報がすぐ分かる
- 情報共有が容易



実践的なBCP訓練の取組事例(神奈川県厚木市) 2019年(令和元年)9月1日(防災の日)

基本方針

- 1 発災後に職員が主体的に対応する一次調査にフォーカス。
- 2 厚木市下水道関連職員全員参加型の訓練(事務系職員含む全24名)。
- 3 日曜日の午前(8:30~12:00)で実施。
- 4 机上型訓練(グループワーク)と実地訓練に分けて実施。

時間	内容	備考
8:30~9:00	①目的、訓練内容などの説明	質疑を含む
9:00~9:45	②机上型訓練(グループワーク)	全4班
9:45~10:30	③実地訓練(一時調査の実演)	全2班
10:30~11:10	④机上型訓練の発表	10分×全4班
11:10~11:40	⑤災害復旧支援事例の紹介	日水コンより
11:40~12:00	⑥統括+アンケート	

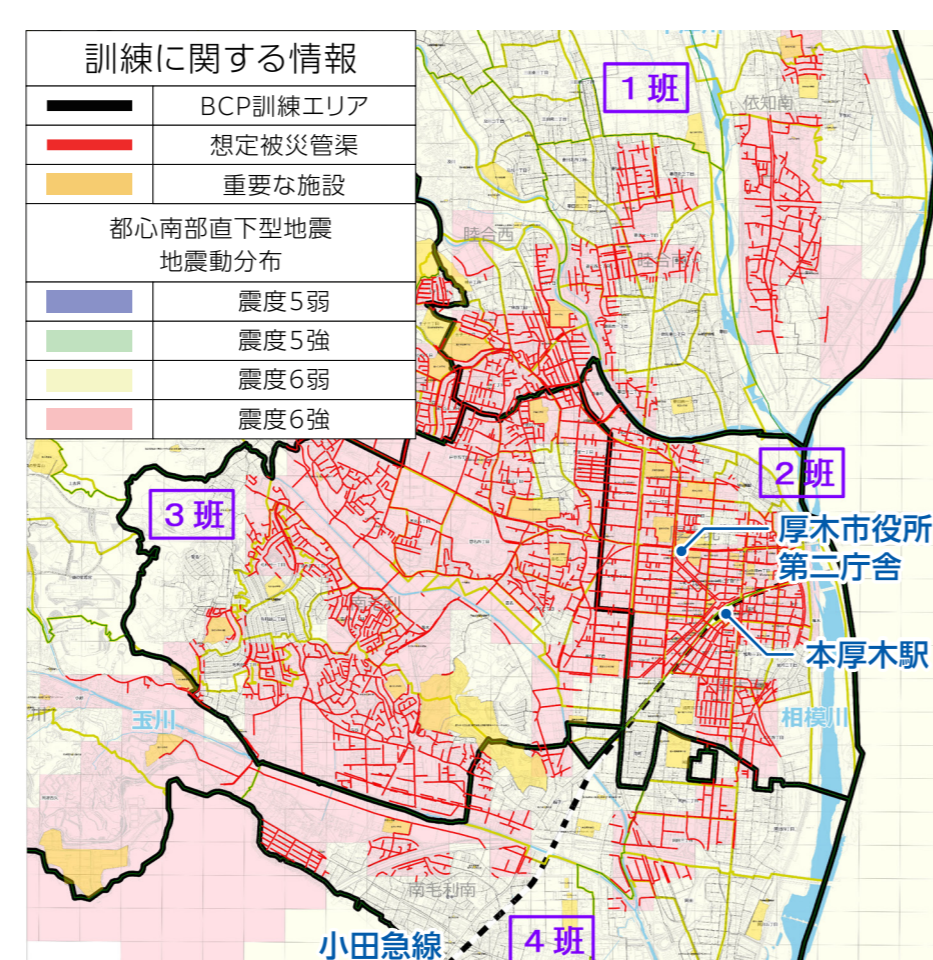
机上型訓練:一次調査計画書の作成

- 大規模地震による被害想定路線を予め抽出(地域防災計画より)
- 議論の要点(一次調査計画書雛形)を整理(議論の活性化に配慮)
- 普段業務を行っている所内スペースで実施(臨場感に配慮)



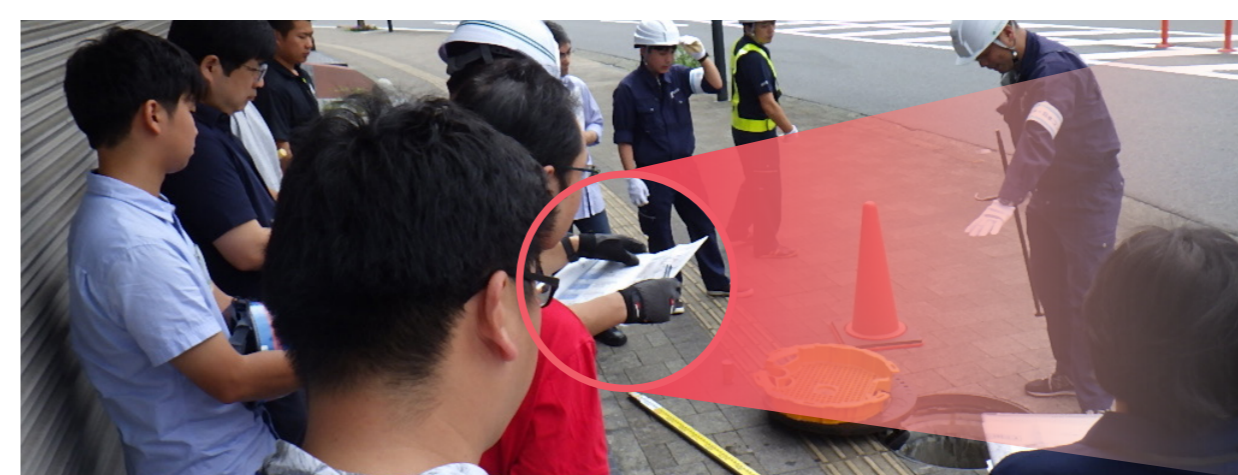
議論の要点

- (1) 班編成
 - 班数
 - 人員体制
 - 受援体制 など
- (2) 調査ルート・実施工程
 - ルート選定
 - 実施工程
 - 調査移動手段(徒歩・自転車等)
- (3) 準備するもの
 - 必要資機材のありか・数量
- (4) その他
 - 簡易BCPの内容の周知 など



実地訓練:一次調査の実演

- 一次調査説明用パンフレットを作成・活用
- 実際の調査方法(資機材の活用方法)・記録手順を実演



訓練を通じて明らかになった課題

- 一次調査に必要な資機材(ヘルメット・安全靴・カラーコーン・マンホール開閉器等)が不足している。
- マンホールの中を見たことがない事務系職員が多くいる。
- 被災時の停電を想定し、下水道台帳図を紙でもあらかじめ用意しておくべき。クラウド台帳ならもっと便利!
- 職員の異動を考えると、継続的な訓練実施が重要!

訓練から災害支援まで、
我々が全力でサポート致します!!